
疾走デート

並盛りライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

疾走デート

【Zマーク】

Z9568A

【作者名】

並盛りライス

【あらすじ】

これが三人で行く最後の真夜中ドライブデート。私達は何処に行こうか…誰が何と言おうとも、これは恋愛だと主張したい。

軽快に走る軽自動車の側面に、突風が当たつては裂けていく。

真夜中の道路には対向車もない。

気分だけが高揚する私達はとつとめのない馬鹿話を笑いあつていた。

「どこに行く？」

数分、辺りをドライブしていると助手席に乗つっていた親友の志保里が言った。

私は、まだ、何処に行くかも決めていなかつたので後ろの席で黙つていた。

運転しているのは、千鶴姉さんで、姉さんと言われているが同じ歳で高校を卒業した同級生だ。

「××の潰れたラブホにでも行く？」

「私たち三人で？」

意味のない会話が楽しいのは、夜の街が静かな反動だろうか。

車についているデジタル時計は一時を示していた。

占いの話、好きなアーティストの話、変な世界情勢の話。

まとまりも、終わりもない話が続いていく。

望めば何処にでも行けるのに、まだ私達の住む世界の中を走っている。

「ねえ、志保里、なつちん（私のあだ名）。

いつもリーダー役の千鶴姉が今日はなぜか湿っぽい。
「どうしたん？」

「こじが志保里のスゴい所で、聞き役に回ったから右に出る者はいない。

「私、好きな人ができるのね。」

「へえ～。」

さつきの高揚が嘘みたいに透き通って、ムードが出来上がった。

狭い空間で、お互にの息遣こすりも手ててのりで解る。

「なつちん、いいの？誰かに千鶴姉を盗られちゃうよ。みつよ。」

「なに言つてんのよ…志保里。それで相手は誰？」

「本当は一年前に、一個上の先輩で、告つたら一発。」

「おお～。」

歓声と共に、車が跳ね上がる気がした。

点滅信号の光の残像が曲線を描いて祝福する。

でも…。

私達の住んでる世界は酷く狭い。

「だから、大阪に引っ越すことになった。那人、大阪で独り暮らししてるんだけど、一緒に住もうって誘われてさあ。」

「マジ?」

「つそおーー?」

「同棲つていうか、部屋は別なんだけど。」

「こいつ行くの?」

志保里が聞く。

「一週間後になる…予定。」

川沿いを走る車。灯りは少なくて、漆黒の闇だけが深い。

「大阪かあ…近いよね。」

私が言う。

「近い、近い。高速飛ばせば一時間弱よ。」

闇を抜けると、ちょっと高級な住宅街の中を走っていく。

「だから、コレが三人で行く最後のデートです。」

静寂。でも、そんなに悪くない沈黙。

「どう行くん?」

誰が言ったのか分からぬが聞こえた。

「ひさしひさしひに琵琶湖にでも行く?」

「ええ~ 寒そ~。」

何処に行こうか。私はまだ考えていた。

「大阪。」

「はあ~? なつちん本気?」

「明日、学校あるんじやないの?」

「いいの。明日は創立記念日にする。」

「お~お~。」

車は、国道をぐんぐん進む。

「大阪のどこに行く気？」

知らない街。

私達の世界の外側。

「分かんないよお。大阪つて何処よお。」

私のお願ひは却下され、朝日を見に琵琶湖に行くことになつた。

軽快に走る軽自動車の側面に突風が当たつて裂けていく。

やがて琵琶湖に着いた私達三人は、朝日が登るのを待てずに、車の中で寝てしまつた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9568a/>

疾走データ

2011年1月24日00時55分発行